



《ミニブレーク154》

フェデラー33歳の逆襲

監修/辻野隆三 (MIRAI TENNIS ACADEMY) 作画/石川正順

今年の6月に
行われた
ウィンブルドン
の前哨戦とされる
ドイツの
グリーノウェバー
オープン大会は
フェデラーが
2年連続の
優勝を果たし
ました

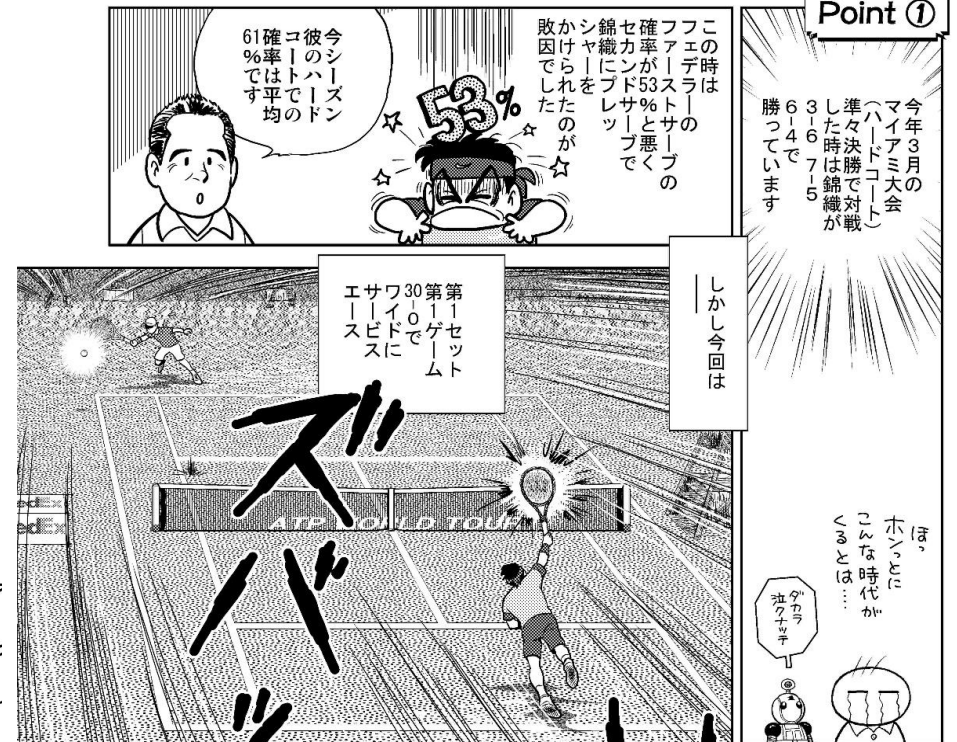
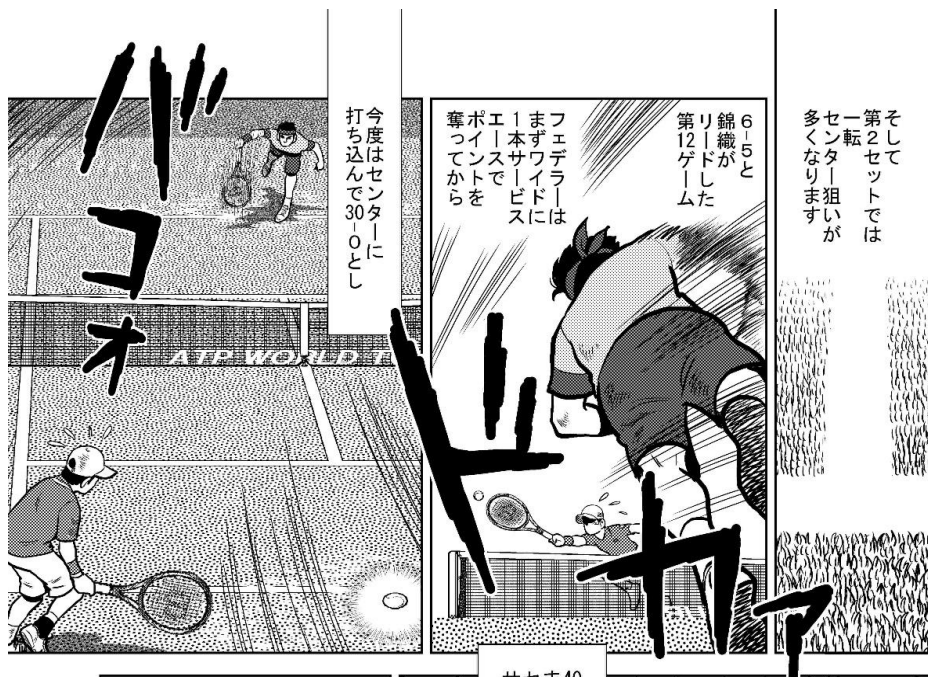


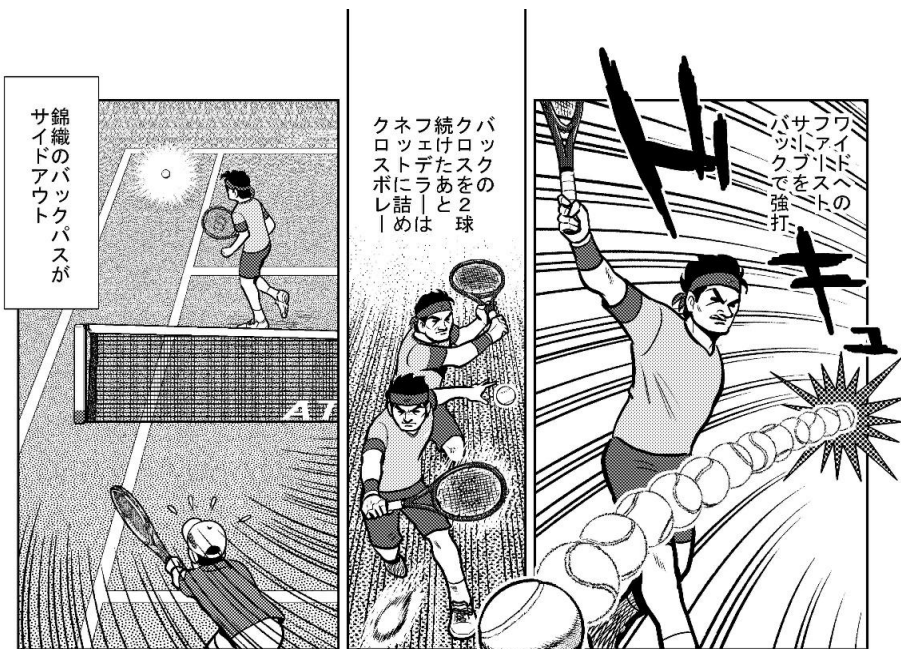
錦織 圭

1989年
12月29日生まれ
24歳

R. フェデラー

1981年
8月8日生まれ
33歳





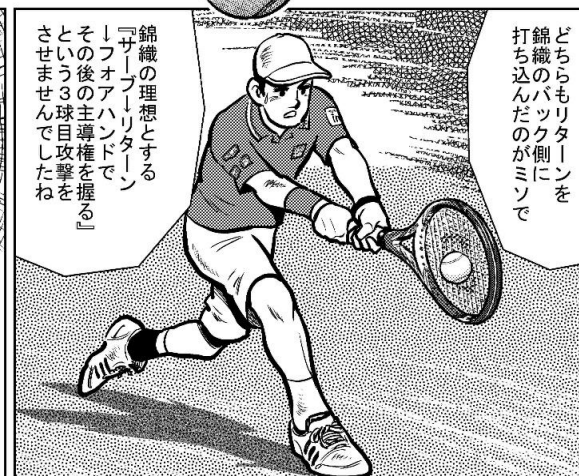
錦織のバックパスがサイドアウト

バックのクロスを2球続けたあと、フェデラーはネットに詰め

ワイドへのバックパスに、フェデラーはバックで強打



この時のフェデラーは相手がファーストサーブであっても攻撃的なリターンを返すという積極策が功を奏したわけだ



どちらのリターンを錦織のバック側で打込んだのがミソで

錦織の理想とする『サーブ・アンド・リターン』の主導権を握るという3球目攻撃をさせませんでしたね



トッププレイヤー同士の対戦では、ポイントとポイントと訪れやすいものから

その少ないチャンスでもものにできるかどうか、勝負の分かれ目となります

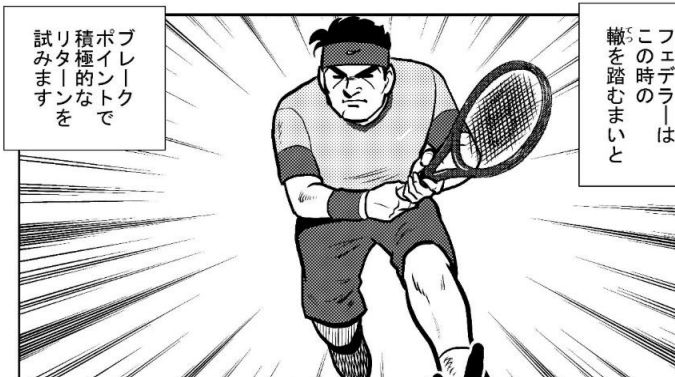


彼が過去の平均から10%の低さで、それ以上の成功率は28%

この試合のバックパスの成功率は28%

Point ②

フェデラーは昨年のマドリード大会3回戦でも錦織に負けています



フェデラーはこの時の轍を踏むまいと

ブレークポイントで積極的なリターンを試みます

もう言葉が見つからない



2度目は第2セット第1ゲーム30-40

その後のラリーを制してブレーク

錦織がセンターへ入れてきたファーストサーブを

1度目は第1セット第6ゲーム30-40

